

STAX



SR-1 LAMBDA

エレクトロスタティックイヤースピーカー ¥28,000

SR- Σ の開発過程で得られたノウハウをフルに生かして完成、耳の形をあるがままに生かす小判型の発音ユニットと耳を押しさえつけないデザインが、ヘッドフォンの新世代の誕生を告げます。



SR- Σ (SIGMA)

パノラミックサウンド
イヤースピーカー
¥38,000

音の自然な響きを求めて生まれたその独特の形状がそれまでのヘッドフォンでは得られなかった音場空間を創造します。



SR-X/MK3

エレクトロスタティック
イヤースピーカー
¥23,000

極めてシビアな音質チェック用として限らない分解能と透明度を追求したモデル、音を見る高解像力接写レンズとも呼びたい製品です。

●その他、イヤースピーカーSRシリーズには、ヘッドフォンの原器SR-5、エレクトロレットコンデンサー型純コンデンサー型のクオリティに肉迫したSR-40、コンデンサー型初の密閉タイプSR-50があります。

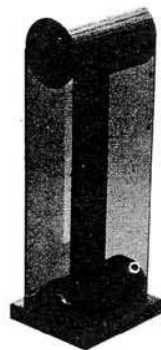
また、専用アンプや各種アダプター、延長コードや増設用コンセントボックスなどのアクセサリー類も豊富にそろっています。

これほどの音がスピーカーで出せるだろうか？

——大変高価なヘッドフォンだが、それだけの価値があるのだろうか？ 私はYESと言わざるを得ない、と言うのもスピーカーではめったにない追真性 (Realism) を提供してくれからである。この追真性は他のヘッドフォンでは絶対と言って良い位、得られないものであると私は考える——、イギリスのオーディオ専門誌でスタックスのイヤースピーカーについて厳しいテストの結果、以上のようなレポートが掲載されました。これこそスタックスが誇るヘッドフォンと呼ばずに“イヤースピーカー”と命名した意図であり、SR-1から出発し、SR-3、SR-5、SR-X、SR-X/MK3そしてSR- Σ 、これらスタックス20年の歴史を彩る製品群の中に貫かれている基本理念です。

そしていま、このSRシリーズにSR- Σ の空間表現とSR-X/MK3の分解能をあわせもってあたかも音楽が、まさにその一瞬一瞬にまじめて生まれ出るような新しい音のイヤースピーカーが誕生しました。SR- Λ (LAMBDA) です。

これほどの音、スピーカーで出せるでしょうか？



ヘッドフォンスタンドとか、置場所にこだわることの多いのがヘッドフォンのようです。そこでスタックスが便利なヘッドフォンスタンドをつくりました。据置き型としてのほか、壁や柱に取付けることもできるシンプルで飽きのこないデザインです。

ヘッドフォンスタンド プレゼント

●スタックスが世界で初めてコンデンサーヘッドフォンを発売してから既に20年が過ぎました。そして、多くの耳の輝かなオーディオマニアに愛されて育てられてきました。スタックスではコンデンサーヘッドフォン20周年を記念して、6月1日から7月30日までにSR- Σ 、SR- Λ 、SR-X/MK3をお買い求めの方にもれなく上記の新製品ヘッドフォンスタンドをプレゼントいたします。

スタックス工業株式会社 製品についてのお問い合わせは5.7

ページと明記の上、下記までどうぞ。

〒171 東京都豊島区雑司 3-25-5 TEL 03-981-7227